

No. 97

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 **アリーナA-男6**

ハンドボール

年月日 2023 年 7 月 26 日 (水)
 大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 函館大学付属有斗高等学校										和歌山県立粉河高等学校										B	
北海道					函館市					函館アリーナAコート					1回戦						
前半		A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mAD-DF入	A	B						
		12	19		28	38															
7m得点/総数		A 0/0			チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 2/2		7m得点/総数								
		1 0636			2 3			1 2952			2 0920		3								
No.	函大有斗				G	W	2'	D	DR	No.	粉河				G	W	2'	D	DR		
1	西里 鳳将									1	前川 凜太										
3	木村 琉唯人									2	大村 優羽				4						
4	田中 敦也									3	山田 阿東無				9						
5	石岡 拓真									4	小泉 侑磨										
6	磯見 太心				1					5	中野 匠										
7	伊藤 加偉									6	武内 惺				3						
8	清水 大翔				5					7	山本 裕心										
9	加藤 矜太郎				10					8	松田 知紘				5						
10	境谷 匠朗				2					9	松下 利輝										
11	工藤 拓郎				2					10 c	松原 悠斗				5						
12	中出 翼									11	平 佑斗				4						
13	川尻 謙臣				4		1			12	上東 伸太郎										
14 c	吉田 瑞貴				1					14	鈴木 龍旺				6						
15	杉本 大空				3					15	久保 颯真				2						
監督A	澤田 俊祐									監督A	大串 有高										
役員B	橋上 直人									役員B	門田 敏樹										
役員C	小島 雄太									役員C	久保 彩夏										

A **澤田俊祐** チーム役員A署名 **大串有高** B
 特記事項

レフェリー	岡田 雅央	荒木 隆史	岡田 雅央	荒木 隆史
T.D.	加藤 俊宏	谷口 嘉朗	加藤 俊宏	谷口 嘉朗
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

No 2



Japan Handball Association

記録用紙
ランニングスコア

試合番号 アリーナA-男6

年月日	2023年7月26日(水)	会場名	函館アリーナコート
大会名	令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会		

ハンドボール

A	函館大学付属有斗高等学校	28	VS	38	和歌山県立粉河高等学校	B	男子	1回戦
---	--------------	----	----	----	-------------	---	----	-----

スロ-オフ
函大有斗

12	-	19
16	-	19
-	-	-
-	-	-
7mTC	-	-
-	-	-

No.	函大有斗	G	W	2'	D	DR
1	西里 鳳将					
3	木村 琉唯人					
4	田中 敦也					
5	石岡 拓真					
6	磯見 太心	1				
7	伊藤 加偉					
8	清水 大翔	5				
9	加藤 裕太郎	10				
10	境谷 匠朗	2				
11	工藤 拓郎	2				
12	中出 颯					
13	川尻 謙臣	4	1			
14 c	吉田 瑞貴	1				
15	杉本 大空	3				
監督A	澤田 俊祐					
役員B	橋上 直人					
役員C	小島 雄太					

No.	粉河	G	W	2'	D	DR
1	前川 凛太					
2	大村 優羽	4				
3	山田 阿東無	9				
4	小泉 侑磨					
5	中野 匠					
6	武内 惺	3				
7	山本 裕心					
8	松田 知絛	5				
9	松下 利輝					
10 c	松原 悠斗	5				
11	平 佑斗	4				
12	上東 伸太郎					
14	鈴木 龍旺	6				
15	久保 颯真	2				
監督A	大串 有高					
役員B	門田 敏樹					
役員C	久保 彩夏					

Ref	岡田 雅央	荒木 隆史
TD	加藤 俊宏	谷口 嘉朗
MO		

A		B	
背番	結果 得点	時間	得点 結果 背番
前 半			
13 S	00 49 1	0 6	
	01 52 2	14	
14	1 02 19		
	02 55 3	0 10	
	06 01 4	10	
	06 36 5	2	
T	06 36		
8	2 07 02		
6	3 07 57		
	08 12 6	3	
	09 01 7	3	
13	4 09 30		
	10 39 8	6	
13	5 10 58		
	11 50 9	14	
15	6 12 05		
9	7 13 28		
	14 00 10	3	
	15 13 11	8	
13	8 15 35		
	17 13 12	10	
	18 21 13	8	
11	9 20 05		
	20 37 14	14	
	22 44 15	8	
8	10 23 45		
	27 00 16	3	
	27 35 17	8	
15	11 28 03		
	29 40 18	14	
9	12 29 52		
	29 52	T	
	30 00 19	14	
後 半			
8	13 00 39		
10	14 01 20		
	02 04 20	14	
9	15 02 39		
	02 52 21	6	
	03 32 22	2	
9	16 03 43		
8	17 04 44		
8	18 06 16		
	06 25 23	2	
9	19 06 36		
	06 54 24	10	
9	20 08 33		
11	21 06 16		
	09 20	T	
	10 49 25	11	

A		B	
背番	結果 得点	時間	得点 結果 背番
9	22 11 56		
	12 20 26	3	
	12 50 27	11	
10	23 13 00		
	13 50 28	8	
	16 01 29	3	
	17 27 30	2	
9	24 18 36		
15	25 19 25		
	20 13 31	15	
	21 26 32	3	
13	26 21 57		
	22 22 33	3	
9	27 24 04		
	24 27 34	15	
9	28 24 58		
	25 24 35	11	
	26 26 36	10	
	28 27 37	3	
	29 20 38	11	
特記事項			

No 98

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

ハンドボール

競技日	2023年7月26日(水)		会場	函館アリーナ	
種別	男子		回戦	1回戦	
チーム名			チーム名		
函館大学有斗高等学校			和歌山県立粉河高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	12	前半	19	38	
	16	後半	19		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評	
<p>地元函館有斗のスローオフで始まったこの試合は、粉河⑥武内の7mスローによる得点で幕をあげた。前半開始早々、前半3分に有斗はキャプテンである有斗⑩吉田の負傷退場により、攻撃の要を失う。それに対し、粉河は上手くボールを回し、⑥武内や⑩松原の得点で主導権を握る。</p> <p>前半6分には粉河のGK⑫上東の好セーブからの速攻が決まり、1対5となったところで、有斗はタイムアウト。タイムアウト後、有斗は⑧清水、⑥磯見、⑬川尻の得点で反撃を開始し、前半15分で8対11となる。</p> <p>前半17分、有斗はエース⑭吉田の復帰に地元開催で全校応援となった観客も盛大に盛り上がるも、痛みがあり、すぐにベンチに戻る。</p> <p>前半20分以降、有斗は⑬川尻や⑧清水を中心とした攻めが、次第に粉河の懸命なディフェンスにより、得点に結びつかなくなり、一方で粉河は巧みにボールを回し、⑥松田や⑭鈴木のサイドシュートで、点差を再び離していき、前半27分で10対17となった。また、前半終了間際には粉河がタイムアウトをとり、GKを含めた7人攻撃を成功させ、12対19で粉河の7点リードで前半を折り返した。</p> <p>後半に入り、巻き返しをはかる有斗はディフェンスシステムを1-5に変更し、GK①西里の好セーブや、⑧清水や⑨加藤の得点により、後半9分に21対24で3点差まで縮める。</p> <p>ここで粉河はタイムアウトをとり、タイムアウト後はGK①前川の好セーブや、③山田と⑮久保を中心とした攻めから得点を重ね、後半15分で23対28。有斗も⑨加藤の得点から点差を縮めようとするも、粉河は選手を入れ替えながら攻撃をしかけ、点差を広げていき、28対38で粉河が2回戦へ進出した。</p>	

記入者	工藤 優祐
-----	-------